

宇佐美江戸城石丁場遺跡・伊豆古道保存会 令和5年度事業報告書（案）

* 単位：円

事業区分	区分	事業名	実施時期	対象	予算	決算	摘要
(1)教育事業	継	①(国史跡)宇佐美小学校見学支援(座学・現地見学)	10/6 10/16	宇小6年児童	0	0	
	年度	⑭宇佐美学校授業支援	6月～3月	宇小全校児童	0	0	支援組織に参加
	継	②(国史跡)宇佐美学園見学支援	—	学園児童	0	0	* 支援要請なし
	継	③(国史跡)宇佐美学園体験入園支援	6/17	中央区児童	0	0	
	新	④こどものための「国史跡保存活用計画書」の配布	通年		5,000	5,500	郵送分のみ
	新	⑤こどものための「中村敬宇の西國立志編」冊子制作	—		100,000	0	* 準備整わず
	年度	⑮中央区わんぱくキッズ支援	8/6	中央区児童	0	0	夜間講義のみ
	小計				105,000		5,500
(2)保全整備事業	継	⑤(国史跡・伊豆古道)パトロール・除草等	—		0	0	* 予定が立たず
	継	⑥(国史跡)「御石公園」清掃	12/17	—	1,000	312	
	継	⑦国史跡看板の破損、汚損等報告	12/19	—	0	0	教委へ報告
	年度	⑯「コミセン築城石」移設	3/5		0	0	宇佐美区に協力
	小計				1,000		312
	(3)啓発活用事業	継	⑧(第4回)郷土歴史文化遺産展	10/16～11/10	不特定多数	1,000	11,760
(4)研究事業	小計						11,760
	新	⑨(国史跡)「保存整備基本計画」作成協力	—	—	0	0	* 市の立ち上げなし
	新	⑩(国史跡)「保存整備基本計画」勉強会	—	諸団体	2,000	0	* 市の立ち上げなし
	小計				2,000		0
	(5)その他事業	継	⑪宇佐美城山に係る情報収集等	隨時	—	2,000	0
	新	⑫「文化財保存活用地域計画促進協議会」(仮称)設置	—	—	1,000	0	* 市の立ち上げなし
	継	⑬教育長等へ政策提言	—		0	0	* 準備整わず
	年度	⑭宇佐美小学校150年記念碑建立事業	9/20～7月末		0	0	事業委員会に参加
	年度	⑮「東京シティガイドクラブ」研修受け入れ	3/24		0	6,300	受け入れ要請あり
	小計				3,000		6,300
	合計				112,000		23,872

【補足説明】

*「灰色枠」は、実施しなかった事業。理由は摘要欄に記載。

*「橙色枠」は、年度途中からの事業。区分欄に「年度」と表記。理由は摘要欄に記載。*詳細は別紙(「令和5年度実施事業における経費支出の詳細」)のとおり。

*「区分」欄の内、「年度」は、年度当初の事業計画書に記載のなかつたもので途中から追加した事業。

年度途中から追加した事業については、実施に至る経過を含めて理事各位にその都度報告していることから、理事会の開催による決定と見なして実施した。

*「⑭宇佐美学校授業支援」に係る経費支出は、令和5年度は試行的であることから、参加団体、個人によるボランティアで賄っており、保存会からの支出はない。

*「⑮中央区わんぱくキッズ支援」は、8/6の夜間講義のみ実施で、8/7の現地見学は雨天のため中止した。

*「⑯「コミセン築城石」移設」は、宇佐美区議会が市長宛に要望書を出し、保存会が協力する形で実施した。移設は教育委員会(生涯学習課)が行った。

*「⑰宇佐美小学校150年記念碑建立事業」に係る経費支出は、建立委員会から行われ、保存会からの支出はない。また同委員会への拠出もない。

*「「東京シティガイドクラブ」研修受け入れ」は、年度途中に要請があったもの。過去3回の研修受け入れあり。

【令和5年度予算書に記載の注意事項等】

- * 1 事業名欄の(国史跡・伊豆古道)の記載は、対象を示すもので、必ずしも両方に関わる事業を実施することをいうことではない。
- * 2 事業の実施及びその他の活動に係る伊東市・関係者等との日常的な打ち合わせ等については、記載していない。
- * 3 会員の労務に係る経費(人件費)は計上しない。
- * 4 事業の実施に係る資料の作成等の軽微な経費は、管理費の内の「事務局経費」に含む。
- * 5 「継」は、継続する事業(必ずしも毎年度実施しているとは限らない)を示す。「新」は新規事業を示す。
- * 6 「④子どものための「中村敬宇の西国立志編」冊子制作の財源は、補助金等見込む。補助金の状況により原稿作成まで。
- * 7 「⑧(第4回)郷土歴史文化遺産展」は、「おとなと子どものための郷土歴史文化遺産展」の略
- * 8 事業番号⑨、⑩、⑫は、伊東市の作業立ち上げ状況に応じて実施する。
- * 9 事業計画に記載のない事業でも、理事会の承認を得て、年度途中で総予算の範囲内で追加できる。

宇佐美江戸城石丁場遺跡・伊豆古道保存会 令和5年度事業の目的

事業区分	事業名	目的
(1) 教育事業	継 ①(国史跡)宇佐美小学校見学支援(座学・現地見学)	実地見学により、児童の国史跡に対する関心を深める
	継 ②(国史跡)宇佐美学園見学支援	実地見学により、児童の国史跡に対する関心を深める
	継 ③(国史跡)宇佐美学園体験入園支援	実地見学により、児童・保護者の国史跡及び宇佐美学園に対する関心を深める
	新 ④子どものための「国史跡保存活用計画書」の配布	令和4年度事業で制作した冊子の有効活用をはかる。
	新 ⑤子どものための「歴史上の宇佐美の人物」冊子制作	子どもの郷土への愛着と誇りを養う
(2) 保全整備事業	継 ⑤(国史跡・伊豆古道)パトロール・除草等	管理者と協議しつつ維持管理に協力する
	継 ⑥(国史跡)「御石公園」清掃	公園管理者と協議しつつ国史跡の玄関口の美化をはかる
	継 ⑦国史跡看板の破損、汚損等報告	市の財産である国史跡遺跡看板の良好な維持管理に協力する。
(3) 啓発活用事業	継 ⑧(第4回)郷土歴史文化遺産展	宇佐美区、小中学校と共に、市民の歴史に対する関心を醸成する
(4) 研究事業	新 ⑨(国史跡)「保存整備基本計画」作成協力	教委が行う「保存整備基本計画」の作成に協力する
	新 ⑩(国史跡)「保存整備基本計画」勉強会	「保全整備基本計画」について自主的に市民勉強会を企画する
(5) その他事業	継 ⑪宇佐美城山に係る情報収集等	宇佐美城山に係る情報収集等を行う
	新 ⑫「文化財保存活用地域計画促進協議会」(仮称)設置	市内の歴史文化遺産の計画的、総合的な保存活用計画作成を促進する
	継 ⑬教育長等へ政策提言	効果的な文化財行政推進のために政策等の提言を行う